

# 確実な穂肥・追肥で栄養確保！

## 一発肥料でも追肥を検討しましょう

- ・ 茎数が過剰傾向で、梅雨明けも早まり、高温が続いているため、今後、葉色の低下が予想されます。
- ・ コシヒカリの出穂期は「平年並」と予想されます。

### 1 7月19日現在のコシヒカリ生育状況 (拠点9地点平均、移植日平均5月7日)

草丈 (やや長)	茎数 (やや多)	葉数 (やや早)	葉色 (並)
----------	----------	----------	--------

区分	本年値	目標値 (カシダ <sup>®</sup> -生育目標比・差)	前年値 (前年値比・差)
草丈 (cm)	81	75 (108%)	78 (104%)
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	468	430 (109%)	481 (97%)
葉数 (葉)	12.5	12.0 (+0.5)	11.9 (+0.6)
葉色	SPAD	32.2 (-0.8)	33.5 (-1.3)
	葉色板	3.5 (-0.1)	3.5 (±0.0)

## 2 コシヒカリの管理ポイント

幼穂長などで生育診断を行なって出穂期を予測し、穂肥や追肥を適期に施用しましょう。

### (1) 一発肥料(全量基肥肥料)の追肥を検討

葉色が著しく低下している場合(カラスケール3.3以下、SPAD値30以下)は、「出穂期10日前頃から5日前頃」に有機100%の肥料を施用しましょう。

### (2) 分施肥系の2回目穂肥を確実に

有機入り肥料の場合は「出穂期12～10日前」に、窒素成分で1kg/10aを目安に施用しましょう。